

## バリアフリー演劇公演のご案内

この度、私たち東京荒川ロータリークラブは人と人が関わりあい生まれる心の豊かさを感じられる場をつくりたいと考え、バリアフリー演劇プロジェクトを企画、荒川区、公益財団法人荒川区芸術文化振興財団との共催で東京演劇集団風「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち」を上演する運びとなりました。この作品はよく知られているヘレン・ケラーの物語ですが、自分らしい明日を探し今を生きる人たちに向けた、「生きている幸せをともに味わいたい」と求めあうヘレンとアニー・サリバンの出会いの物語です。障がいのあるなしに関わらず私たち一人一人が人として公平に関わりあえること、認め合えること、それを通じて私たちがいまを生き、次代を担う人たちにとって生きる喜びや、人と人が関わりあう喜びに出会う場になることを願って、私たちは公演の場を作りました。是非この機会に楽しみながらご覧いただければ幸いです。



### 舞台説明

サポート内容、舞台装置や広さなどを説明・出演者が役柄や衣装を紹介します



### 舞台手話通訳

物語の進行に合わせて舞台上を動きながら通訳を行います



### バリアフリー字幕・ライブ音声ガイド

舞台中央に日本語字幕を投影／音声ガイドが客席に流れます

バリアフリー演劇は、舞台後方の字幕とライブで役者の動きなどを俳優が説明する音声ガイドに加え、舞台衣装をまとった手話通訳者が役者と連動しながら舞台上で通訳します。  
 事前資料貸出し / ご希望の方に事前に上演台本をお貸し出します。点字や点訳データの上演台本もごございますので、ご希望の方は主催者までご連絡ください。



## 自分らしい明日を探している 全ての人たちへ

「生きている幸せをともに味わいたい」と求めあう  
 ヘレン・ケラーとアニー・サリバンとの出会いの物語

### あらすじ

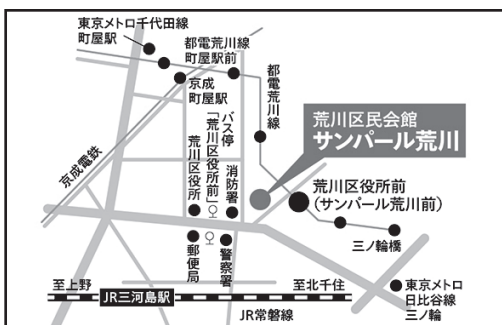
アメリカ南部アラバマ州タスカンビア。  
 ヘレン・ケラーは、2歳の誕生日を迎える前、突然の病気で見ることも、聞くことができなくなってしまいます。同じ頃、パーキンス盲学校で勉強するアニー・サリバンは、弟ジミーが孤児院で病死したとの知らせを聞きます。  
 5年の月日が流れたとき、ヘレンの家庭教師となったアニー。彼女は身体ごとぶつかり合いながら、ヘレンとコミュニケーションをとり、指文字を教え始めます。しかしヘレンは言うことを聞きません。アニーは教師としての自信を失いかけて、「ヘレンとふたりだけで生活したい」とヘレンの家族に話します。ヘレンとぶつかり合い、指文字を教え、生活のすべてを共にしたアニー。ヘレンの幸せを願い、自分にとってもヘレンがかけがえのない存在になることに気づきはじめます。その想いに呼応するように、ヘレンのなかでも何かが大きく動き始める――。

### 出演

- ヘレン・ケラー.....倉八ほなみ
- アニー・サリバン.....渋谷愛
- アーサー・ケラー(ヘレンの父).....酒井宗親
- ケート・ケラー(ヘレンの母).....仲村三千代
- ジェームス・ケラー(ヘレンの兄).....中村 滋
- アナグノス(アニーの先生).....緒方一則
- 医者.....坂牧明
- パーシィ(ヘレンの友達).....稲葉礼恵
- ビニー.....清水菜穂子
- 舞台手話通訳.....小島祐美
- 音声ガイドナレーター.....辻由美子

### <スタッフ>

- 音楽 小室等
- 舞台美術 上田淳子
- 照明 坂野貢也
- 音響 酒見篤志
- 音声ガイド監修 大河内直之
- 字幕・手話監修 廣川麻子



【都電荒川線】  
 東京メトロ千代田線・京成線 町屋駅より  
 都電荒川線乗換三ノ輪橋方面→  
 荒川区役所前下車 徒歩2分

【都バス】  
 JR日暮里駅東口より「里22」亀戸行き→  
 荒川区役所前下車 徒歩2分  
 JR西日暮里駅より「草63」浅草寿町行き→  
 荒川区役所前下車 徒歩2分

【東京メトロ】  
 日比谷線三ノ輪駅下車 南千住方面  
 3番改札を出て明治通りを  
 王子方面へ徒歩12分(荒川警察署向い)